

令和5年度 教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に基づき、自主性と創造性に富み、心身ともに健康で人間性豊かな知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して次の目標を掲げる。

- 健康な子 【心と体をきたえ、健康で明るく、自己管理のできる児童】
- 考える子 【主体的・対話的な学習を通して、正しい判断力、思考力、表現力を身に付ける児童】
- ◎ すすんでする子 【自ら課題を発見し、意欲的に探究し、主体的に活動できる児童】
- 協力する子 【相手の立場に立って考え、互いに認め、助け合うことのできる社会性豊かな児童】

◎は令和5年度 重点目標

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力の定着

- (ア) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学ぶ態度を醸成するために、問題解決型の学習の授業改善を通して、個別最適な学びや協働的な学びの実現を図る。
- (イ) 問題解決的な学習や体験的な活動、ICTを効果的に活用した学習活動を充実させることで、自ら学び探究する意欲を高め、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を図る。
- (ウ) 地域の人材や資源を活用したカリキュラム・マネジメントを推進し、よりよく生きていくための資質・能力を育成する。
- (エ) 学校図書館等の活用を通し、読書・言語・情報への興味関心を高め、自ら調べ、考えを発信し、仲間と意見交流することで、言語能力や情報活用能力の育成を図る。

イ 豊かな心の醸成

- (ア) 教育活動全体を通じた人権尊重教育の推進により、自己肯定感・自己有用感の育成を図るとともに、多様性を受容する態度を醸成する。
- (イ) 道徳教育の充実を図るとともに、自然体験や交流活動等の学習の機会を生かし、自他の生命を尊重する「生命の安全教育」を推進する。
- (ウ) 「SOSの出し方に関する教育」を日常的に実施し、いじめや暴力的言動に対する正しい行動をはじめ、児童が適切に援助希求行動ができるよう支援する。
- (エ) いじめ、不登校児童等への対応として、いじめ防止対策委員会、不登校対策会議等を定期開催し、SC、SSW、子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を密にして、教育相談体制の充実を図る。
- (オ) 特別支援教育の巡回指導拠点校として特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制を整え、**通常の学級**と積極的に連携し、児童一人一人に対する支援を適切に行う特別支援教育を推進する。

ウ 健やかな体の育成

- (ア) 体力・運動能力調査等の結果から児童の実態を把握し、「元気アップガイドブック」やコーディネーショントレーニングを活用した体力向上への**取組**や、「グッドモーニング60分」を活用した健康な生活習慣づくりへの**取組**を組織的に行う。
- (イ) 安全教育年間指導計画に基づき、避難訓練、セーフティ教室等の実施、防災ノートや東京マイ・タイムラインの活用を通して、安全教育や防災教育を推進する。
- (ウ) 家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、アレルギー疾患対応マニュアルに基づき、保護者・担任・学校が児童の状況を適切に把握し、食物アレルギー事故防止の徹底に努める。
- (エ) 病気予防の一環として「薬物乱用防止教室」を実施するとともに、コロナウイルス感染予防に関する定期的な見直しと指導に努める。

エ 輝く未来に向かって

- (ア) 小中連携教育、スタートカリキュラムの推進を行うとともに、「学校生活支援シート」を活用し障害ある児童にとっても、安心して通える学校づくりおよび幼保小中の連携を目指す。
- (イ) オリンピック・パラリンピック教育のレガシー（環境教育、日本の伝統・文化に関する教育、国際理解教育等）を継続するとともに、情報モラル教育およびデジタルシチズンシップ教育を推進し、情報社会に対応した資質・能力を育成する。
- (ウ) ALTや英語村を活用するとともに、自発的・自治的な学習を重視し、国際社会において活躍できるグローバルでたくましい人材の基礎を育成する。